

発行：2006年12月5日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦  
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083  
ホームページアドレス：<http://www.kvision.ne.jp/~shanti/>

## ～シャンティ山口 2006 年度—第5号～

### 「やまぐち いきいきエコフェア」

広げよう！！ 未来につながるエコアクション

きらら元気ドームに出展

子どもから大人まで、楽しみながら環境への理解を深めることができる  
参加・体験型の環境イベント。

テーマ「地球温暖化防止」「循環型社会の形成」「環境学習の推進」

開催日時 平成18年10月14日(土) (9:00～16:00) 15日(日) (9:00～15:00)

### タイの農村開発と地域環境保全「発生源で元を絶つ」北タイ・トイレの実証

シャンティ山口のブースでは、現地の生活の様子、自立のための支援の状況、活動内容のパネル展示、モン族の刺繍の頒布・タイパヤオの自然循環トイレ(第1号)の模型を交えての説明などを行いました。

二井知事さんが早速視察され、熱心に説明を聞かれ「へえ～山口県でも使われているのか」と感心を寄せていらっしゃいました。

「タイで活かされる日本の農家の智慧」というチラシを配付しました。(ニュースレター53号参照)  
模型の説明で人が集まり、反応は上々でした。早速この方式のトイレを計画したいと、3名の方がいらっしゃいました。

#### 主催者やまぐちいきいきエコフェア実行委員長からのお礼のメッセージの一部紹介

(今年は、天候に恵まれたこともあり「きらら物産・交流2006」全体の来場者は、昨年を上回る110,000人となりました。地域における環境の保全を図っていくためには、みなさま方との連携・協働が極めて重要であると考えておりますので、今後ともより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。当フェア会場におきましても、みなさま方の工夫を凝らした出展等のおかげをもちまして、昨年度を超える38,000人の方に訪れていただき、多大な成果を収めることができました。)



自然循環式トイレの模型全体



畑と自然素材を使った内部浸潤装置





シャンティ山口のブース



接客中（安藤）



接客中（兼富）



接客中（佐伯）



正面シャンティ山口のブース



エコ展ブース



環境学習の体験ブース



環境学習の体験ブース



豊魚祭イベント

## 11月4日 周防国分寺法要

聖武天皇の勅願により、国ごとに建てられた官寺のひとつで創建当初の境内に今も伽藍を残すきわめて珍しい例として知られています。境内地は国の史跡に指定されており、また重要文化財の金堂には、藤原時代初期の木造日光・月光菩薩立像をはじめ多くの仏像、宝物があります。シャンティ山口も出展し、法要にお参りしました。

（護摩火渡りをしました。火の固まりがお灸をしてくれました。これで持病も回復しました。さえき）





周防国分寺正面



出展中のシャンティ山口



護摩供養の火付け



修研者の開門入刀



修研者の護摩渡り



一般の護摩渡り

## 2006 年秋のメッセージ

お彼岸も過ぎ曼珠沙華も終わりキンモクセイの香りの時期を迎えます。日本では、さわやかな秋風と運動会のシーズンとなり過ごしやすく、また、それぞれに専念できる季節となります。

タイでは、中間休み（農村では、農繁期休暇）に入り寮の子ども達も当番を残してみんな村に帰り家のお手伝いや、少しでも家族の助けにと家帰らずアルバイトに専念する寮生も多くいます。寮生が待ちに待った休暇のひとつです。

休暇を終え寮へ帰ってしばらくは、家族のこと・村のこと・休み中の出来事などみんなで楽しい語らいの場が絶えません。寮では、みんな実の兄弟姉妹のようです。

それぞれが切磋琢磨して絆が大きく成長しています。  
シャンティ寮だからこそ、成長の過程と共に自然に身に付く人づくりの場でもあります。

しかしながら、巣立っていく子ども達の行方は、必ずしも約束されたものではありません。  
むしろ、現状は、多難が待ちかまえています。高校を卒業し、大学を卒業しても、ゆくあてのない（夢が描けない）状況では、苦しい中、せつかく寮で培った体験と将来に向かっての思いが失せかねません。

シャンティ寮で培った生活体験を、活かすには、卒業後の状況の確認と、お手伝い（当面の就職、家業（農業の支援）、起業の手助け）が必用です。

また、真の自立を願うなら、容易ではありませんが、ここまでが私たちにできる最後の応援であり責任です。（一巡すれば、彼らがやってくれると思います。そのためのお手伝いですから。）

役員の方々は基より会員の皆さんには、今、一度踏ん張っていただき、支援者の皆さんと共に、この子どもの現実の生活に向かっの応援をいただきますようお願いいたします。

## モン (Hmong) のお正月

モンの人々は、タイで一般的な仏暦とも西暦とも違う独自の太陰暦を、持っています。西暦に合わせると毎年日にちが違ってくるようになりますが、今年は、12月19日が元旦に当たります。(収穫が終わった新月の説もあります。) モンの正月行事は、日本との類似点がいくつもあり、餅つき、独楽回し、たこ揚げ、竹馬等見ていると日本の田舎にいるようです。

大晦日に汲んだ水と、元旦未明に同じ大きさの容器で汲んだ水の重さを比べ、新年の水が、重ければ、今年は、雨期に雨が充分降って豊作が期待でき良い年になる。という、豊作を占ったり精霊に祈願するなど日本に似た神事もあります。

大晦日には、大掃除をし、各家にある祭壇に祈りを捧げて祖先の霊を呼び。元旦の朝は、村の広場で、お年寄り達にご馳走を振る舞った後、近隣の村から集まった村人達が、新年の挨拶や、交流会、鮮やかな刺繍がきれいな蒙の伝統衣装で踊り、モン式の弓矢競技、竹馬競争、ケーン(蒙の笙)等あり。

夕方からは、舞踏会で、夜遅くまで歌や踊りでお正月を祝います。以降1週間程度が、松の内、村は正月気分が華やきます。

新年の代表的な行事は、未婚の男女が、知り合うことを目的とした、伝統的な遊戯があります。

黒い布で作った毬を民族衣装の男女が、投げ合いその間に語り合う。皆んなの目撃している前ですが、条件となっているので広場では、常に10数組ほどのカップルが少しはにかみながら投げ合う微笑ましい光景が見られます。

また、家では、鶏や、豚などが、食卓に上がり親戚や、近所で、互いに食事に招きあってお正月を過ごします。

(シャンティ山口ニュースレター第16号より抜粋)

## “福餅募金”のお願い

現地の状況は、当初の、何とか食べて生きているという状況から、少し良くなり、日一日と活気が見えてきています。まだまだ生活の安定とまでは行きませんが、それぞれ「夢」とか「希望」とかが語れる状況になっています。

シャンティ寮の子ども達は、「学校に行かせてもらって3食ご飯を食べることができ毎日感謝しています。」自分が学校に行けることで家族の犠牲を知っているだけに、そのぶん、一生懸命勉強し、将来は、まず、家族が満腹に食べることができるよう、弟や妹たちにも、学校に行けるよう頑張りたいと思っています。夏休み、中間休み、お正月休みの期間は、アルバイトに励みます、今年もお正月の休みがやってきます。

「お正月は、家族みんなで過ごします。

お正月は、アルバイトで貯めたわずかなお金ですが、  
家族みんなで分け合って「お餅」を食べます。

お正月は、家族と一緒に過ごせる1年で一番幸せなひとときです。

お正月は、みんなに会って夢を語ります。

日本の皆さん勉強の機会をくれてありがとう。」

子ども達は、日本の支援者の皆さんに感謝しながら毎日を過ごしています。

“この子ども達に「お餅」を 腹一杯食べさせてあげたい！！”

“福餅募金”にご協力ください お願いします。